

編 集 後 記

『人間学部研究報告』第十二集をお届けします。近年の急激な社会変動は、大学という存在の役割にも大きな影響を与えつつあります。こうした言い方はこれまでもそこかしこで言われてきたことでしょう。社会の制度である以上、その変化に無縁でいられるわけもなく、それ自体は当然のことですらあるでしょう。けれども、ここ数年の変わり様は、その前の10年間に比してもずっと大きなもののように思えてきます。「教育研究」の並び方が逆転し、キャリア教育が必然となった今、紀要も考え直されてしかるべき候補の第一にあげられるのかもしれませんが。中身の充実を考える前に、制度そのものを問い直す段階にある。これが実感です。（K）

執 筆 者 紹 介（掲載順）

樺 博 行	京都文教大学人間学部・現代社会学科・教 授
永 野 貴 子	京都文教大学人間学部・現代社会学科・准教授
小 林 康 正	京都文教大学人間学部・文化人類学科・教 授

2009年度編集委員会

*小 林 康 正 Elizabeth A. King

渡 辺 峻 瀧 澤 正 己

*編集委員長

京都文教大学 人間学部研究報告 第十二集

平成23年3月31日 印刷

平成23年3月31日 発行

発 行 京 都 文 教 大 学
京都府宇治市榎島町千足80
〒611-0041 電話 (0774)25-2400

印 刷 (株) 同 朋 舎
京都市下京区中堂寺鍵田町2
〒600-8805 電話 (075)361-9121